

アフターコロナ2022

～令和4年の日々が平穏であることを願って～



新年あけましておめでとうございます。

令和4年の輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より笠松町議会に対しまして、温かいご支援と深いご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年6月第54代笠松町議会議長就任以来、初めて迎える新年でございますが、大変身の引き締まる思いであります。

一昨年発生した新型コロナウイルスは、近年経験したことがない感染症の流行となり、感染を予防しながら日常生活を送るウイズコロナの時代が到来しました。公共施設の利用制限や各種行事の中止・延期など、大変ご不便をおかけしました。感染を少数に抑えることができているのは、町民の皆さまが感染防止対策にご理解とご協力をいただいた結果であり、深く感謝申し上げます。

さて、明るい話題といたしまして、東京オリンピック・パラリンピックでの日本選手団の大躍進をはじめ、アメリカメジャーリーグでは大谷翔平選手のMVP獲得、将棋界では史上最年少で藤井聡太4冠の誕生など、国内外で若者の活躍が特に目立った年でありました。

笠松町の若者からは、子どもの権利条例制定を求める意見書が町長に提出されました。そして、定例議会において、「子どもの権利に関する条例」の制定を全会一致で可決いたしました。この条例は現在建設中の「新こども館」の活動基本方針として実現され、次世代を担う子どもたちを支える施設として活用されていくことを期待しています。

今年は寅年で、虎はよくことわざに登場します。「虎は千里行って千里帰る」は勢いが盛んであるたとえとして用いられますが、子どもや家族が心配で戻るともいわれ、虎の愛情の深さを表しています。

何事も虎のように威勢良く、また子どもや家族を大切にしてみんな仲良く健やかに暮らしたいものです。

新型コロナウイルス感染症に関しては、ワクチン接種が進み、さらに国内製ワクチンや薬の開発の進展など明るい兆しが見えてきています。人類の英知が結集すれば必ず乗り越えアフターコロナの日を迎えられると信じています。

結びになりますが、町議会は笠松町の明るい未来をつかむため、勢いとやさしさをもって職務に邁進する所存であります。本年も町議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして幸多き年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



笠松町議会議長 田島 清美